

ISMS マネジメント PRO.notes

Automatic Management Review & Improvement : AMRI(アムリ)

情報共有で経営品質を向上!

「ISMS マネジメント PRO.notes」とは？

ISMS・PMSの構築・運用がらくらく！

- 「ISMS マネジメント PRO.notes」は、Lotus Notes 上で稼動する ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)・PMS(個人情報保護マネジメントシステム)の構築・運用を効率的・効果的に行うための IT マネジメントツール
- ISMS 及び PMS に必要な **フレームワークを提供**することによる効率的なシステム構築を実現し、運用段階では **PDCA サイクルを効果的に機能**させ、その **運用記録を体系的に保存**

特徴的な機能は？

マネジメントレビュー情報を Automatic に収集！

- ISO27001:2013、JIS Q 15001:2006 要求事項への支援機能（裏面参照）のみならず、ISO9001:2015、ISO14001:2015 要求事項の全般を支援
- 各支援機能からマネジメントレビュー機能への入力情報（議題）を **Automatic に収集**し、効果的な経営者レビュー：「見える化」を実現
- 文書管理機能等の全ての支援機能において、**ワークフロー (WFL)** 機能を実装しており、**電子承認**での運用を実現
- 組織の規模及び状況に合わせて、支援機能単位での段階的システム導入が可能

導入効果は？

人的コストの削減と情報共有による「質」向上！

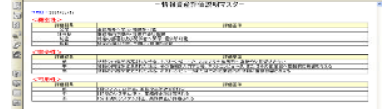
- 手作業での運用、並びに複数サイトでの運用における問題点（リスクアセスメント、文書・記録管理が大変、内部監査が効果的・効率的に行えない、第三者審査対応が大変、等）を大幅に解消（**人的コストの削減**）
- 発生したクレーム内容、不適合内容、応急処置、是正処置及びマネジメントレビュー記録等を **独自のノウハウとして蓄積・共有**し、組織内における情報格差を解消、全員参加型での改善活動（**ノウハウの横展開**）を促進（**経営品質の向上**）
- 経営者がマネジメントシステムの運用状況をタイムリーに把握でき、環境・品質・情報セキュリティ等に関するリスクコントロールの的確性を向上
- 環境負荷軽減対策でもある **ペーパーレス**での運用を実現



◆リスクアセスメント



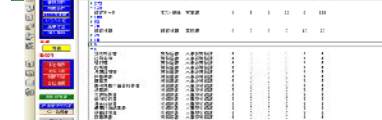
◆評価基準マスタ



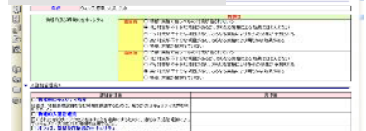
◆情報資産登録



◆リスク値一覧



◆詳細管理策選択



◆適用宣言書



※「ITマネジメント」とは、積極的に情報技術(IT)を活用したマネジメント手法のことで、弊社固有のキーワードです。

【企画・開発元】



アイソフトエンジニアリング株式会社
 名古屋市中区錦一丁目 13 番 33 号 福昌名古屋ビル 〒460-0003
 Tel 052-203-2811 Fax 052-203-2812
 Homepage: <http://www.isosoft.co.jp>
 e-mail: isosoft@isosoft.co.jp

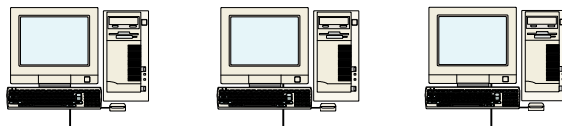
Lotus Notesは、IBM Corporationの商標です。

●ISMS マネジメント PRO.notes の支援機能一覧

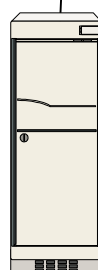
ISO 27001:2013 要求事項	機能	JIS Q 15001:2006 要求事項	機能
4 組織の状況		3.1 一般要求事項	
4.1 組織及びその状況の理解	●ISMS 管理モジュール	3.2 個人情報保護方針	●ISMS 管理モジュール
4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解		3.3 計画	
4.3 情報セキュリティマネジメントシステムの適用範囲の決定	●文書管理モジュール	3.3.1 個人情報の特定	●文書管理モジュール
4.4 情報セキュリティマネジメントシステム		3.3.2 法令、国が定める指針その他の規範	●ISMS 管理モジュール
5 リーダーシップ		3.3.3 リスクなどの認識、分析及び対策	
5.1 リーダーシップ及びコミットメント	●ISMS 管理モジュール	3.3.4 資産、役割、責任及び権限	
5.2 方針		3.3.5 内部規定	
5.3 組織の役割、責任及び権限	●文書管理モジュール	3.3.6 計画書	
6 計画		3.3.7 緊急事態への準備	
6.1 リスク及び機会に対処する活動	●ISMS 管理モジュール		
6.2 情報セキュリティ目的及びそれを達成するための計画策定	●文書管理モジュール		
7 支援		3.4 実施及び運用	●ISMS 管理モジュール
7.1 資源	●教育・資格モジュール	3.4.1 運用手順	●文書管理モジュール
7.2 力量		3.4.2 取得、利用及び提供に関する原則	●文書管理モジュール
7.3 認識		3.4.2.1 利用目的の特定…	●顧客管理モジュール
7.4 コミュニケーション		…3.4.2.8 提供に関する措置	●ISMS 管理モジュール
7.5 文書化した情報	●文書管理モジュール		
8 運用		3.4.3 適正管理	●文書管理モジュール
8.1 運用の計画及び管理	●ISMS 管理モジュール	3.4.3.1 正確性の確保	●購買管理モジュール
8.2 情報セキュリティリスクアセスメント		3.4.3.2 安全管理措置	●ISMS 管理モジュール
8.3 情報セキュリティリスク対応		3.4.3.4 委託先の監督	
9 パフォーマンス評価	●内部監査モジュール	3.4.4 個人情報に関する本人の権利	●文書管理モジュール
9.1 監視、測定、分析及び評価		3.4.4.1 個人情報に関する権利…	●顧客管理モジュール
9.2 内部監査		…3.4.4.7 開示対象個人情報の利用又は提供の拒否権	●ISMS 管理モジュール
9.3 マネジメントレビュー	●レビューモジュール	3.4.5 教育	●教育・資格モジュール
		3.5.1 文書の範囲	●文書管理モジュール
		3.5.2 文書管理	
		3.5.3 記録の管理	
10 改善		3.6 苦情及び相談への対応	●顧客管理モジュール
10.1 不適合及び是正処置	●レビューモジュール	3.7 点検	●内部監査モジュール
10.2 継続的改善		3.7.1 運用の確認	●レビューモジュール
付属書「管理目的及び管理策」	●ISMS 管理モジュール	3.7.2 監査	
		3.8 是正処置及び予防処置	
		3.9 事業者の代表者による見直し	●レビューモジュール

●動作環境

【クライアント】
Lotus (IBM) Notes R5、6、6.5、7、8、8.5、9
が動作する環境



【サーバー】
Lotus (IBM) /Domino R5、6、6.5、7、8、8.5、9
が動作する環境



Notes サーバー